神戸の勞働爭議 形勢益々險惡

十日の第二回示威運動には 三萬餘の職工が參加

神戸造船所の職工は大阪から神戸に移り川崎造船所電工會の爭議を中心として三菱造船、同内燃機等の外八日に至り更に三菱電機、神戸製鋼工も繼續し今や神戸市は爭亂の渦を捲き形勢頗る險惡を示してゐるが更に十日の日曜日には左の如き計畫で一斉に第二回の大示威運動を試みる事となつた

神戸作業組合聯合會の第二回示威運動として友愛會及神戸職工組合、川崎電工組合、神戸造船勞働組合、三菱電機工組合、神戸印刷工組合、三菱造船所の組織造船工組合及び三菱造船所の組織造船工組合、川崎大魔分工場の職員、水上警察、自轉車乙種工場、本社の造船工場、造兵廠立各工場の勞働者等三萬餘名は十日午前八時を期して神戸川崎造船場に集合し久留弘三氏議長となり開會の上行動綱領は警固當局部氏中村警察部長、行政長官氏及び神戸市長及び神戸市長等の外八日に至り更に三菱電機、神戸製鋼工も繼續し今や神戸市は爭亂の渦を捲き形勢頗る險惡を示してゐるが更に十日の日曜日には左の如き計畫で一斉に第二回の大示威運動を試みる事となつた

神戸作業組合聯合會の第二回示威運動として友愛會及神戸職工組合、川崎電工組合、神戸造船勞働組合、三菱電機工組合、神戸印刷工組合、三菱造船所の組織造船工組合及び三菱造船所の組織造船工組合、川崎大魔分工場の職員、水上警察、自轉車乙種工場、本社の造船工場、造兵廠立各工場の勞働者等三萬餘名は十日午前八時を期して神戸川崎造船場に集合し久留弘三氏議長となり開會の上行動綱領は警固當局部氏中村警察部長、行政長官氏及び神戸市長及び神戸市長等の外八日に至り更に三菱電機、神戸製鋼工も繼續し今や神戸市は爭亂の渦を捲き形勢頗る險惡を示してゐるが更に十日の日曜日には左の如き計畫で一斉に第二回の大示威運動を試みる事となつた

大阪全市の友愛會員參加

京都和歌山も

神戸の爭議應援のため大阪友愛會聯合會では八日午後八時半代議員會を開催の末左記決議文を作成十日全市會員の動員を行ひ午前六時半各組合支部旗を押立て梅田驛前に集合同五十分發汽車で木村綛吉氏總指揮官となり神戸の示威行列に參加するとなつた、尙之を勞働史の好資料とすべく當日の光景を活動寫眞に撮るとなつた、因に京都和歌山の同會支部も參加する由

決議

神戸の勞働爭議に對しては我等は死力を盡して應援す

大阪友愛會聯合會

朝から晩まで 示威行列

川崎三菱兩職工

榮業服で神戸市を埋めたかのやうに見ゆた川崎、三菱兩造船所の大示威行列は八日早朝から午後四時に至る迄千二千と各部隊に分れ市中の大通りを練歩つて居たが暑りつける暑さと砂塵に汗みどろとなり勞働歌の高唱に何れも咽喉を潤らし流石の勞働者も疲勞の足を引ずり午後四時過大々兩造船所に引揚げ萬歲を唱へて溫順しく解散夫々歸途についたが尙一部は夕方になるも示威行列を續けてゐた一方委員連は寄々協議會を開き今後の方針につき協議を凝して居た

誓約書 調印に先って

解雇された川崎爭議の經過

川崎造船所の電工部職工電正會では今回の爭議に關する經過顚末を八日午後愛裳氏六日朝左の誓約書を作成し一同の調印を爲る事としたが調印未了に先つて特別委員青柳、伊藤、荒井、前田、小川、水山、山湯の七名が突然解雇され會社職工相互のためにした總ての計畫が水泡に歸したゝめに遂に勃發した次第を述べて重役の應度餘りに高壓的な事を難じてゐる

誓約書

今般川崎造船所對我々の爭議に關した部條項因く相守り如何なる支障あるも決して違反致す間敷候事

(一)要求條件貫徹に勿論將來の團結の義務(二)工場の指揮に從ふ事(三)此度總て委員會の承認せざる各種文書の交附を受け又は發送せざる事

右誓約如件

警察側は無干涉主義

練るだけ練て解決せよ

阪本部長賀川氏に言明す

職工罷業の形勢殺伐險惡と見て賀川豐彥氏は八日午後二時半阪本警察部長を訪問し午後二時辭去したが同三時大阪から應援に來た友愛會大阪支部木下作次郎氏と共に再び阪本部長を訪ひ

(一)當局が仲裁の意思ありや否や

(二)工場が閉鎖した場合勞働者の集團場所を失ふ事になるかさうなれば勢ひ工場を占領するか又は他に適當の場所を求めねばならぬ此場合に於ける當局の意見如何

之に對し阪本部長は當局は終始無干涉主義である事を言明し同時に勞資何れにしても若し公安を害するやうな場合は警察として執るべき途を執る工場占領等は絕對に認めぬ然し工場閉鎖の場合相當な空地が選ばれゝば集團を黙認する旨答へ賀川は一切干涉せぬが一個人が誹謗した旗を押立てる事は絕對に不可ぬと述べた

勞働爭議は仲裁して表面丈綺麗に繕はしても根柢がグラついて大阪に引揚げた

責任は一切 引受ける

川崎重役の言明

七日解雇された神戸川崎造船所電氣工作部職工代表者伊藤三吉、前田、荒井、小川、山崎の六氏は八日午後二時本社で永留、山本兩取締役と會見の末七日の青柳團の暴行による不祥事には永留重役が一切責任を負ふ旨言明を得午後四時引揚げた

青柳檢束者

既報

川崎の青柳團中八日檢束された者は永澤町一丁目ペンキ職淡路巳之助（三十九）西出町同鹿谷発吉（廿六）湊町四丁目同藤原巳之助（三十七）荒田町四丁目吉田仙次郎（四十三）仲町六丁目同柳田外次（卅二）外七名である

飛火した 三菱電機

千二百餘名

三菱造船所及同内燃機の勞働爭議は更に三菱電機株式會社に飛火し同社職工は八日朝から半惡罵詈を始めたので午前九時半工場長は役附職工全部を集めて會社の不況狀態を說明し業務に就く樣勸告したが折柄門外で喚聲を揚げた川崎造船所及同分工場職工等の示威運動に誘ひ出されて就業せず會社では正午斷然休業の旨發表したので千二百餘名の職工は鬨聲と共に門外に溢れ出て有志は吉田新田公會堂に集合し協議を重ねたが一方會社側では直ちに幹部會を開いた、有につき西山參事は語る一職工側から何等の要求も出て居ない有樣で使會社職工の煽動だと存じます九日職工が出勤せぬやうなら斷然工場を閉鎖する積りです

川崎造船の 要求攻め

分工場は休業

川崎造船所職工今後の態度に就き勞働者は秘密の結果十一日以後も現狀を維持し同一内容の要求書を提出することになるらしい又兵庫分工場は同盟罷業が職工の結束上不利なるの爲め十一日から一同休業し意思を續くる事になつた（神戸電話）

大阪驛から續々 神戸を應援に

職工一萬五千繰出す

神戸川崎造船所並に三菱造船所の職工が十日の日曜を利用して大示威運動を行ふに付大阪よりは友愛會の大阪聯合會員等應援として同日午前六時大阪驛に同會所屬員

▲一萬五千餘名を召集し午前六時四十分臨時列車にて神戸に向ふ筈なりしが朝來の大雨にて第一回は先づ百名神戸に向ひたり七時過ぎより雨も止み勞働者は列車の發車毎に引續き神戸に向ひ

▲日活撮影部に一千五百由にて同社の技師が同列車にて神戸に赴き同地に於ける示威運動を撮影せり其寫眞は東京後草電氣館

▲尙大阪驛聯合會の賀川豐彥氏が

統率者 となつて友愛會

川崎三菱兩造船所 罷業團の大示威

賀川木村兩氏統率者と成り 神戸市中を練り廻る方針

【大阪電話】川崎三菱造船所罷業三萬八は十日午前十時から神戸市中を大示威運動を行ひ氣勢を擧げる事となつたが友愛會の神戸

大阪驛聯合會からは木村主事が指揮者となつて大阪市内の各工場の會員失業者等二萬餘人之に參加する筈であるから十日の神戸市は勞働者の大集團を以て滿たさるゝ譯である

葺合工場も 同情 怠業

川崎兵庫分工場は九日午前七時上

り二千五百名の職工は工場を出て三菱造船所川崎本社等の示威運動を行ふて正午湊川遊園地で解散した尙は川崎葺合工場も九日朝同情意を表すこととなつた